



# 東北電友会会報

83号

平成30年  
8月発行



シリーズよみがえるあのことろ  
～電話がみえる心の風景～  
「祭りにテレカだ！」

写真提供/電友会 秋田支部

I

## INDEX

### ごあいさつ

NTT 東日本 宮城事業部 秋田支店長	1
支部長メッセージ 秋田支部長	2
NTT グループ東北だより	3
賛助会員企業様コーナー	6
東北地方本部だより	8

各地区電友会だより	10
会員リレーコーナー	68
会友コーナー 文芸・随想	72
でんでんみちのく川柳コーナー	83
NTT 東日本から退職者の皆様へ	84
編集後記	85

## ごあいさつ

東日本電信電話株式会社  
宮城事業部 秋田支店長

松 浦 寛



東北電友会の皆様には、日ごろよりNTT東日本グループの事業に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

7月1日付けで、秋田支店長に着任しました松浦寛(まつうらひろし)と申します。

東北での勤務経験は初めてですが、これまで仕事の中で東北との繋がりが大変深かったことから、東北に対し特別な思い入れがあります。東日本大震災の際は、勤務地の千葉県から支援部隊を派遣し、東北の災害復旧に携わりました。その後、本社に異動した際には、東北復興推進室を兼務することになり、東北の復興に向けて緊密な連携を図ることができました。東日本大震災から7年が経過し、震災復興にかかわる地域の要望も変化しています。お客様「新しい要望」を的確に捉え、応えていくことは、これからも引き続き私達の責務と考えています。

さて、ここ秋田県は「人口減少率 全国一」「65歳以上の人口割合 全国一」という人口減少・高齢化社会のトップランナー、課題先進県です。昨年4月には、東北で初めて県人口が100万人を割りました。秋田県は県外転出が転入を上回る「社会減」に歯止めをかけるため、県内への移住・定住や県内就職の促進、子育て支援に取り組んでいます。また、秋田駅前周辺開発など「行きたい・住みたい・活力ある街」を目指した官民一体の取組みも加速しています。

一方、人口が減少し続ける中で秋田県全体が持続的成長を遂げるためには、一人当たりの生産性向上が不可欠です。ICTを得意とする私達は、お客様が抱える真の課題に耳を傾け、ICTにより課題解決を図ることで、地域の生産性向上のお手伝いが必ずできると確信しています。

昨年度NTT東日本は、秋田県と多分野連携協定を締結し、地域の活性化をともに進めています。また、秋田支店では教育関連で、北秋田市の校務システム導入、八峰町小中学校へのタブレット・電子黒板等更改、秋田市の教育情報ネットワーク更改等のICTシステム導入や、観光では秋田市へのWiFi導入等を進めており、今後も地域に根ざし、活力ある地域形成の一助を担っていきたくと考えております。

最後になりますが、電友会会員の皆様にはこれまでと変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。東北電友会の益々のご発展並びに会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



## ◎支部長メッセージ



秋田支部長

高橋 幸雄

### インターバル速歩の勧め

平成26～27年度電友会は総務省のICT健康モデル（予防）実証事業に協力した。長寿県と言われる長野県と短命県と言われる東北の会員の日々の歩数、血圧、体重、ボラティア状況、集会参加状況などの項目であった。

一般的に東北の中でも特に青森・秋田は塩分の摂取量で短命県だと思われるが、塩分の摂取量では女性で青森県と長野県は同じで男性でも1位は青森県だが長野県は4位である。

長寿の秘訣はいろいろあるようだが、その一つに各野菜をたくさん取っているようです。野菜や果物・海藻に含まれるカリウムは余分な塩分を排出する効果があります。その他に長野県の医療費削減等に向けた取り組みと違うが人口に対する博物館、体育館、プールなどの社会体育施設の数も全国1位、公民館、図書館は全国2位と高齢になってから歴史や文化に関心を持ったり、スポーツを楽しんだ

り、公民館に集まって近隣の人々との交流とあった「生きがい」があるかないかが健康に大きく影響する。地域で毎日の暮らしを存分に楽しむことも健康長寿の秘訣の一つと考えた時、退職後の生活の中で電友会の活動の柱としている「することがある」「行くところがある」「会う仲間がいる」はそれを実践しているように思う。

私の健康法としては今のところランニングをしている。仙台ハーフマラソンにも毎年仲間と一緒に参加している。57歳の時肺癌の手術をし主治医から運動はした方がいいと言われてそれ以来走っている。その練習方法の一つに速く走る↓ゆっくり走るといった「疾走と緩走」を繰り返すインターバル練習がある。距離は専門とする種目により異なるがその効果は①最大酸素摂取量向上②心肺機能向上③スピード持久力向上④乳酸を再利用出来る能力の向上が高められる。

古来人間にとって歩くことは生きていく上での全ての基本であった。人は歩くことによって日々の糧を得ることができ、歩くことによって人々と出会い、そこに社会が形成された。また人々は厳しい自然の中を歩くことにより自然を理解し、自らを鍛え逞しく生きる知恵を獲得してきた。最近多くの人が

健康のためにウォーキングをされていますが歩くことが最も手軽に行える有酸素運動なのですが、そのやり方一つで体に与える影響、効果が変わります。ただひたすら歩くだけでは筋力、持久力の向上が少ないことが分かっています。そこで考えだされたのが「インターバル速歩」です。これは正しい姿勢で大股歩きをします。その方法は①ウォーミングアップを十分にする②ハアハア息があがるように、大股で腕を90度に振って早歩きを3分間続けます。③次に呼吸を整えるようにゆっくり3分間歩きます。この繰り返しを3回ずつやってワンクールとし休憩を入れながら2～3クールを行って終わりです。毎日継続して行うことにより生活習慣病指数とされる①最高血圧②空腹時血糖③BMI④中性脂肪の改善がみられるようになります。最近記憶力向上もみられることも発表された。正しい姿勢とは背筋を伸ばして（タオルを両手で握って頭の上に延ばす、胸をはって）すり足にしないで大股で歩きます。

これまでのようにただどの位（何歩・何時間）歩いたかでなく歩き方に変化をつけて効果のある歩き方をお勧めします。

近年、健康寿命という言葉が盛んに使われその取り組みが紹介されているが、その定義

は「健康上の理由で日常生活が制限されることがない期間」とされているが、今年3月厚生労働省から健康長寿県のランクが発表された。男女とも平均寿命日本一の長野県は「官民学」が一体となって健康長寿世界一を目指し取り組んでいる。「インターバル速歩」はその研究の中から信州大学で考案されたもので国内に広めようとしている。

## ◆NTTグループ東北だより

### ◎仙台・青葉まつりへの参加



中村宮城事業部長とお囃子のみなさん

NTT東日本宮城グループは、5月19日、20日に開催された「第34回仙台・青葉まつり」に参加しました。宵まつり、本まつりとも天候に恵まれ、総勢200名のすずめ踊りやお囃子、山鉾引き手には、OBの方も参加していただき、仙台藩祖伊達政宗公生誕450年の杜の都を熱く盛り上げました。

### ◎スポーツクラブ後援会情報

日頃よりNTTグループ東北スポーツクラブ後援会の活動にご理解とご協力をいただき「東北マークス（ベースボール・バドミントン）」に対し物心両面でのご支援、ならびにご声援を賜り、誠にありがとうございます。昨年、OB・OGの皆様にも会員募集のご案内をさせていただきましたところ、多くの皆様にご賛同をいただきました。この場をお借りいたしましたして御礼申し上げます。

今シーズンはベースボールクラブが3名、バドミントンチームは1名の新人選手を加え皆様のご期待に応えるべく日々鍛錬を重ねております。是非、試合会場やグラウンドに足を運んでいただき、ご声援をいただければ選手の励みになると思いますので、よろしくお願いたします。

さて、各クラブの近況ですが、ベースボールクラブは、5月に都市対抗野球（本大会・

東京ドーム）予選に臨みましたが、企業チームの壁が厚く、惜しくも一次予選宮城大会第三代表決定戦で敗退。現在はクラブ野球選手権大会（本大会・メットライフドーム）への出場に向けて一次予選宮城大会を戦っております。（6月現在）

バドミントンチームは、昨年の日本リーグ（旧二部リーグ）において準優勝し、国内最高峰のS/Jリーグ（旧一部リーグ）への復帰を果たしました。S/Jリーグは国内を転戦いたしますが、東北においては12月に仙台大会が、2月には盛岡大会が開催され、東北マークスが出場します。



東北マークスバドミントンチーム

引き続き、皆様の温かいご支援並びにご声援を賜りますようお願いいたします。

(スポーツクラブ後援会事務局長)



#### ◆「東北マークス」についての紹介

◎「東北マークス」ベースボールクラブとは

…

前身はNTT東北野球部(旧電電東北)です。

1946年(昭和21年) 日本電信電話公社

東北通信局下において「電電東北野球部」創部。

電電公社民営化「1985年(昭和60年)」

に伴い「NTT東北野球部」へ改称。NTT

東西会社再編に伴いNTT東北解散「1999

年(平成11年)8月26日」。

※社会人野球の発展、社員(グループ会社

含め)及びNTTグループ会社間の士気高揚

に大きく貢献した実績を踏まえ、1999年

(平成11年)10月6日「NTT東日本宮城野

球クラブ」として創部(オーナーは当時宮城

支店長の佐藤英明支店長)。

部員構成がグループ会社社員も在籍してい

る事から2002年(平成14年)にNTTグ

ループ東北マークスに改称。

※マークス(マークII目標、道しるべ)野

球を通じた地域貢献、野球界の底辺拡大を目

的とし子供達や野球を続けたいと思っ

ている学生の目標や将来の夢に対する道しるべにな

れるチーム(集合体)という意味、思いの名称。

また、より地域色(東北全体)を持つため

に2010年(平成22年)に「東北マークス」

に再改称。

#### ■主な活動内容

社会人野球の3大会である、都市対抗野

球、日本選手権、全日本クラブ野球選手権の

全国大会出場を目標に活動。

平成29年度の活動状況

・第42回 全日本クラブ野球選手権大会

宮城県大会 優勝

・第42回 全日本クラブ野球選手権

東北大会 準優勝

(全国大会3年ぶり8回目の出場)

・第11回 毎日新聞社杯社会人選抜野球大会

優勝

・地域貢献活動(地域の少年野球や中学、高

校生への野球教室・植樹や清掃活動等環境活

動へのボランティア参加)

#### ■部員数等

・監督含め39名(オーナー、事業部長、部長、

副部长除く)。

・部員所属は、NTT東日本―東北社員をは

じめ、グループ会社社員のみならず各企業及

び大学生等の参加者で構成。

※詳細は東北マークスベースボールクラブ

のホームページにて参加者を広く募集してお

ります。

#### ◎「東北マークス」バドミントン部とは…

前身はNTT東北バドミントン部(旧電電

東北)です。

1972年(昭和47年)「電電東北バドミ

ントン部愛好会」として発足。

1981年(昭和56年)「電電東北バドミ

ントン部」として正式に創部。

電電公社民営化1985年(昭和60年)に

に伴い「NTT東北バドミントン部」へ改称。

NTT東西会社再編に伴いNTT東北解散

「1999年(平成11年)8月26日」。

※東北地方におけるスポーツ競技団体の中

で唯一のトップリーグ所属であったこと、バ

ドミントン競技の発展、社員(グループ会社

含め)及びNTTグループ会社間の士気高揚

に大きく貢献した実績を踏まえ、1999年（平成11年）10月6日「NTT宮城バドミントン部」として創部（オーナーは当時宮城支店長の佐藤英明支店長）。

・改称

2000年「NTT東日本宮城」

※野球部と同調のため

2002年「NTTグループ東北」

2010年「東北マークス」に改称し、現在に至る。

#### ■主な活動内容

・1983年（昭和58年）「日本リーグチーム」作りを目指し本格的に実業団チームとして始動。

・1991年（平成元年）、日本リーグ1部（現在のS/J LEAGUE）への昇格、その後2部（現在の日本リーグ）へ降格を繰り返すも、2018年（平成30年）S/J LEAGUEに復帰を果たしている。

チームとしては、S/J LEAGUE定着、選手個人としては国体や全日本総合選手権大会での上位進出を目標に日々活動している。

平成29年度の活動状況

・第67回全日本実業団バドミントン選手権

東北予選会兼第34回東北実業団

バドミントン選手権大会 優勝（8連覇）  
・第67回全日本実業団バドミントン選手権大会 9位

・第71回全日本総合バドミントン選手権

大会 5位（混合ダブルス）

・日本リーグ2017 準優勝

（S/J LEAGUE2018へ復帰）

・地域貢献活動（東北地方を中心に地域の小・中・高校生への講習会・強化練習会の開催、ボランティア活動への参加）

#### ■部員数等

・監督含め8名（オーナー、部長等除く）。

部員はNTT東日本、グループ会社等（テルウェル東日本、NTTタウンページ、NTTファシリティーズ東北、NTTネクシア、大和電設工業）社員で構成されております。

◇NTT東日本―東北では、NTT東日本グループ各社、関連会社の社員が数多く所属している「東北マークス」を応援することにより「NTTグループ一体感の醸成を図るとともに地域の発展に資すること」を目的にNTTグループ東北スポーツクラブ後援会を設立して応援をしております。

今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ntt.com

**NTT Communications**  
Transform. Transcend.

**Transform your business,  
transcend expectations  
with our technologically  
advanced solutions.**

## 賛助会員企業様コーナー

「賛助会員企業様コーナー」は賛助会員企業様の会員から、ご自分の会社の紹介や余暇の過ごし方等を寄稿していただくコーナーです。今回は日本カーソリューションズ(株)東日本営業本部様、NTTファイナンス(株)東北支店様です。



日本カーソリューションズ株式会社

東日本営業本部

森谷 孝史

温泉巡りとジグソーパズルにはまっています!

日本カーソリューションズ(株)東日本営業本部の森谷孝史です。日頃から、NTTグループ各社様、NTT・OB・OGの皆様には弊社事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

弊社は、皆様には懐しく感じる方も多くいらっしやるかと思いますが、旧NTTオートリースが母体の会社で、平成17年に他のオートリース会社と合併し誕生した会社です。その後も幾つかの会社と合併を行い、現在に至っております。

私が所属する東日本営業本部は、NTTのプロックでいうと、北海道、東北、信越を営業エリアとし、私は各地域のNTTグループ会社、協力会社、関係会社はもとより、各エリアの一般法人企業を含めて日々駆け回っています。弊社は、東北プロックには仙台と盛岡に支店を置いており、各支店で営業マンとアシスタントが協力・サポートしながら、お客様の要望に応じておりますので、お車のことで相談事などありましたら私どもまでお問い合わせください。

自動車業界を取り巻く環境は、メーカーが開発を急ぐ自動運転技術、コネクティッドカー分野での技術開発などの技術的側面や、運転にかかる諸課題の解決に向けた人的側面に焦点をあてた技術開発など、自動車の機能や運転環境はめまぐるしく変化しています。これら環境変化に立ち向かい、「カーソリューションカンパニー」であることを常に意識し、お客様のお役に立ち、感謝される仕事に取り組んでいきたいと日々考えているところです。

さて、仕事を離れば、時間があればできるだけアクティブに過ごしたいと考えており、最近温泉巡りに没頭して、お湯の良い、コスパの良い温泉を求めて、これも駆け回っています。この季節ですと、暑さもおさまった夕暮れ時に、野山の景色を見ながら露天風呂を楽しんだり、夜空を眺め川音を聞きながら湯に浸かり静寂と自然を満喫したり、温泉巡りは癒しと明日への活力を与えてくれます。もう一つはジグソーパズルです。「えっ、森谷がそんな細かいことできるの?」と驚かれる方もいらっしやるかと(笑)思いますが、これが結構はまるもので実は若い頃からやっていました。最初は遅々として進まないのですが、完成直前になるとピースがどんどんはまり出し、その作業は何とも言えない高揚感があり、時間を忘れ夢中になれる、そんなひとときを楽しんでいます。

最後になりますが、私自身は、NTTで培ったアイデンティティを現在の仕事に活かしつつ、弊社の企業理念である「クルマに係わるソリューションの提供を通じてお客様の信頼と自らの持続的成長を追求するとともに、社会・経済の発展と環境保護に貢献する」を実現するためにも、これからも東北電友会会員の皆様やNTTグループ社員の皆様にとってお役に立てることができるよう、また会社としてもNCSのブランド力を高めどのような環境変化にも対応できるようお客様からの信頼を保持し続けられるよう、取り組んでまいります。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



NTTファイナンス株式会社  
東北支店  
生島 靖識

東北での勤務は初めて！  
趣味はスポーツ観戦です！

NTTファイナンス(株)東北支店の生島(しよ うじま)です。

NTTグループ並びにOBの皆様には、平素より弊社事業にご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

皆様ご存じの通り、弊社はNTT民営化後第1号のグループ会社「NTTリース(株)」として1985年4月に設立されました。端末自由化にあわせ通信機器のリース・割賦を提供することから始まった弊社ですが、通信機以外の物件のリースもわずかながら同時に開始し、1989年に海外子会社を設立してグローバル展開もスタートしました。1995年にはクレジットカード事業を取り込んで金融会社として業容を拡大し、2006年にNTTグループ内における資金効率向上を目的としたキャッシュ・マネジメント・システムの運用を開始するのに合わせて「NTTファイナンス(株)」と社名変更を行いました。その後2012年にはピリング事業として、NTT東日本・NTT西日本・NTTコミュニケーションズ・NTTドコモの通信サービス等料金の請求・回収業務を担うこととなり、金融サービスと決済サービスを両輪としたNTTグループにおける金融中核会社に成長してきたところです。私が所属しております東北支店はリース事業の拠点であり、同じく東北にはピリング事業の東北総合料金センターが配置されております。

さて私事ですが、私は1991年にNTTに入社し、関西支社通信システム本部から会社人生がスタートしました。NTTファイナンスには社名がリースからファイナンスに変わったかどうかその日(2006年7月1日)にNTT西日本から移籍し、以降、経営企画・ピリング・リースと渡り歩いて参りました。こういう経歴ですので昨年の4月に着任するまで東北での勤務経験はないのですが、小学校入学前の3年間だけ秋田県大曲市(現大仙市)に父の仕事の都合で暮らしたことがあります。残念ながら映像の記憶はないものの、「ドーン」「ドーン」という打ち上げ花火の音はうっすらと耳の奥に残っています。東北支店在任の間にぜひ一度は足を運んでこの眼で観てみたいと思っています。

趣味はスポーツ観戦で、サッカーやラグビーなどの球技が好みます。特に野球は子供のころから大好きで、今でも球場にもよく通っています。自分でするスポーツとしては、高校の時から続けているテニスと会社に入ってから始めたゴルフになります。長く続けているからといって必ずしも上手くなるというものもなく、むしろ歳を重ねるにつれて身体が思うように動かなくなっていくという現実、少々打ちひしがれておりますが、ダイエットとリフレッシュを兼ねてできるだけ身体を動かそうと心掛けています。

最後に繰り返しますが、弊社は金融サービスと決済サービスを両輪とした先進のソリューションにより、企業経営の最良のパートナーとして、また日常の安心のライフパートナーとして、そしてNTTグループにおける金融中核会社として、これからも成長し続けて参ります。電友会会員の皆様、NTTグループの皆様におかれましては、引き続きご指導ご支援のほど、どうぞよろしくお願いたします。

# 東北地方本部だより

東北地方本部事務局

## ◎電友会幹部会議

30年2月22日、東京西新宿「オペラシティビル」において開催。30年度事業計画、本部会則の改正等の審議、各地域での取り組み紹介等が行われました。

## ◎事務局長会議

30年2月23日、「品川ツイインズビル」において開催。本部会則の見直しに伴う地方会則の見直し、定期報告の見直し等について意見交換を行いました。

## ◎支部長・事務局長会議

30年3月7日、NTT五橋ビルで開催。30年度事業計画、新規会員拡大施策等についての意見交換、本部幹部会議模様の報告等が行われました。



支部長・事務局長会議

## ◎第1回地方理事会

30年4月20日、NTT五橋ビルで開催。各理事（支部長）出席のもと30年度地方評議員会議案書審議、地方本部長表彰の推薦等を行いました。



地方理事会

## ◎東北地方本部評議員会の開催



評議員会模様

30年5月18日、ホテルメトロポリタン仙台において開催。ご来賓にはNTT東日本取締役宮城事業部長中村浩様を始め東北各支店長ほか幹部の皆様、及び賛助会員企業（NTTグループ各社）の幹部の皆様をお迎えし、また、電友会本部からは青野事務局長にご出席をいただきました。

会議では、29年度事業報告並びに30年度事業計画、規約の一部改正、役員改選等について



東北地方本部 奥野本部長

平成30年度 電友会東北地方本部 地方評議員会



地方本部長表彰  
受賞の方々

会議終了後、地方本部長表彰として、支部・地区役員を長年務め退任された6名の方、ボランティア活動に長年取り組んできた3名の方に感謝状が贈呈されました。



ご来賓のNTT 東日本取締役  
宮城事業部長 中村 浩様



ご来賓の電友会本部 事務局長  
青野 信雄様

て審議し全て原案通り可決承認されました。



(平成29年12月～30年4月まで)

◎叙勲のご紹介		
謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。		
高齢者叙勲		
(叙位・叙勲)	(支部名)	(ご氏名)
瑞宝双光章	宮城	佐々木和夫様
同	宮城	高橋 忍 様
同	宮城	阿部 亨 様
同	宮城	千葉 忠吾様
同	宮城	大友 良 様
同	宮城	寺田 直弘様
同	宮城	菅原 昭夫様
同	秋田	國松 剛 様

◆お知らせ

◎2020東京オリンピック・パラリンピック支援施策へのご協力を！  
東京2020大会入賞メダルの作成協力として(株)NTTドコモが共催する「都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト」に電友会も協力しています。使用済みケータイ・スマホをお近くのドコモショップへお持ちください。地方本部事務局へ送っていただいても結構です。



**都市鉱山からつくる！  
みんなのメダル★  
プロジェクト**

**Thank you !**

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

ご協力をいただいた方には  
感謝カードをさしあげております！